



社協とつくろう 夢未来 社協たからづか

第200号
平成24(2012)年
9月1日発行

ふれあいネットワーク



社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会

宝塚市安倉西2丁目1番1号 TEL.0797(86)5000(代表) FAX.0797(86)5069
E-mail: shakyo@nifty.com http://homepage1.nifty.com/takarazukashakyo/



みんなが集う場が欲しい

加入率が90%を超え、性別・年齢など関係なく多くの住民が活動に協力的な中山台自治会。しかし、様々な活動を行う中で重要なものが欠けていました。それが場所です。中山台自治会内には公共の集まれる施設がなく、サロン活動は自治会で民家を借りてしていました。また、会議等はメンバーの自宅でもやることも多々ありました。しかし、住民の高齢化や新たに住まう現役・子ども世代との交流など地域の状況を見据え、地域住民が集い・交流を育み・明日への活力を生み出せる場所が欲しい。そのような声が次第に高まりました。

中山台ほっこり

ハウス



中山台のいま、そして未来...

ほっこりハウスは現在、自治会館としてだけではなく、子育て・いきいきサロンを開催する場、見守り支援の拠点となっています。また、「ほたるの夕べ」「夕涼み会」など年齢を問わず、住民がお互いを知るきっかけとなるようなイベントの場にもなっています。

「つながりができる、そのような場を見ると自然とうれしくなります。これからもほっこりハウスを中心に住民の『わ』が広がるような活動や企画をしていきたいです。」とほっこりハウス館長の石原さんは笑顔で、力強くおっしゃっていました。



ほっこりハウス、作ろう!

平成22年度から自治会内で建設検討委員会が立ち上がりしました。しかし、資金や建設用地の問題、住民の間での合意形成など課題は山積していました。そうした問題にぶつかる度、委員会のメンバーは夜更けまで会議を続け、その問題に立ち向かいました。会議場所に自宅を提供した自治会副会長の渡邊

さんは言います。「どこかの集会所や施設なら、使える時間が決まっています。でも、自宅だったら時間を気にせずメンバー同士が本当に考えていることを出しあうことが出来ます。そのような環境があったからこそ、メンバーの結束は深まり、ほっこりハウス建設への原動力が生まれたのだと思います。」

建設資金は住民の皆様の熱い思いからの多くの寄付金が集まりました。また、ほっこりハウスは積み木による工法で建てられていて、建設時には多くの子どもや住民が自分で家の壁を積み立てていくなど、まさしく住民の手で完成を迎えることが出来ました。

共同募金は地域福祉活動、子育て支援等に活かされています!

第38回 社会福祉大会

～安全で安心な楽しいまちづくりシンポジウム～

テーマ **「つながり」をつくる原動力**
～お互いさまのまちづくり～

人と人のつながりが薄れ、誰にも頼らず自立していく人々が増えています。孤立は高齢者だけではなく若年・実年齢にまで広がっています。基調報告では、その現状と今後必要な支援の仕組みについて、厚生労働省の地域福祉専門官よりご報告いただきます。

身近な地域で見守りや生活支援を行っている事例を通じて、孤立・排除のないまちづくりについて皆様と共に考えます。

日時 平成24年11月12日(月) 13:00～16:30
場所 総合福祉センター 定員 300名

内容 第1部 式典
第2部 基調報告

厚生労働省社会・援護局地域福祉課 地域福祉専門官 中島 修氏
パネルディスカッション

<報告者> NPO法人お互いさまねっと公田町団地(横浜市栄区)
中山台自治会

株式会社リリーフ(西宮市) (遺品整理業者)

<コーディネーター> 同志社大学准教授 永田 祐氏



赤い羽根 ひょうご運動スローガン

やさしさが必ずとどく赤い羽根

赤い羽根共同募金

平成24年10月1日～31日

今年度の目標は

10,590,000円です。

お問い合わせ
宝塚市共同募金委員会
宝塚市安倉西2丁目1-1
TEL 0797-86-5000
FAX 0797-86-5069

～じぶんの町を良くするしくみ～

